

分類	C
00	d
	z

1011

婦勞
一般
10

人少年局職員室主任殿

一段資料

(五十一六)

緊急失業對策事業における
女子日雇勞務者の実態

労働省婦人少年局

緊急失業対策事業における女子日雇労働者の実態

戦後経済の急激な変化に伴い、産業の合理化、企業縮小、更には行政整理と失業者は日増大する傾向にあるが、殊に女子は男子よりその割合は大きく言われている。反面女子の雇用状況は今年に入つて目立つて減少の傾向を示している。

しかも、最近の家庭経済の困窮逼迫は従来家庭にあつた女子も、家計を補助するため、或は又、未亡人など女を帯の主軸として多くの女子が一職の生活を支えるために、取場元の進出を希望するものが極めて多くなつた。このような現状は、公共職業安定所の窓口にも、けん着に現れていて、取を求めて取を偶らねない多くの人は、その好むと好まざるとに拘らず一時的な生活のよりどころとして緊急失業対策法による日雇労働によりかゝることとなり、このことは一職元の就取が困難にならばその数は自然に増加することになり予想される。そこで、現在失業対策事業に就労している女子日雇労働者の実態を明らかにすることは、今後女子の特長に適合した失業者の保護対策を打ち立てる上から、重要な基礎資料と考えられるので、次にその概略を紹介したい。

調査の対象、方法、時期

この調査は、緊急失業対策法に基づき、緊急失業対策事業に就労する女子日雇労働者を対象とした。調査の方法は東京都に於いて女子日雇労働者の比較的多いA、B、Cの安定所に婦人労働課から直接出向いて安定所に登録している日雇労働者全員、即ちA、二六三名、B、二四五名、C、一八〇名、合計、六八八名を登録者カードの様式にならつた調査表に転記した。又男子日雇労働者については、それぞれ安定所の女子日雇労働者の総数に等しい人数を任意抽出し、女子と同様の方法により、日雇労働者男女別の年令構成、教育程度、女子日雇労働者の在籍構成、同じく家族構成を調査した。

なお、前記以外の項目についてはA安定所の女子日雇労働者二六一名（総数二六三名のうち調査不能な

三二名は除いた。について調査を実施した。調査の時期は昭和二十四年八月三十一日現在である。

日雇労働者の男女別年令構成

第一表日雇労働者の男女別年令構成は全産業の労働者の年令構成とは全く正反對な特異的傾向を示している。即ち全産業では第一表で明らかのように、総じて二〇代、三〇代がその主体をなしているのに、日雇労働者の男子は四〇代、五〇代が最も多く、女子は多少違った三〇代、四〇代が顕著となつてゐる。ここに日雇労働者の特殊性があるといえよう。

日雇労働者の男女別教育程度

第二表日雇労働者男女別教育程度は、総体としては、男子の教育程度が甚いが女子も決して低いものではなく、むしろいささか以外とするところである。

女子日雇労働者の在帯構成

A、B、C の各安定所の家族構成を総括してみると、夫又は男在帯が大〇、一%を占め、家族のある女在帯が三二、八%、女の独り在帯が七、一%となつてゐる。これを更に大別すれば男在帯大〇、一%、女在帯三九、九%となる。

女子日雇労働者の家族構成

第三表であるように、夫又は男在帯と家族のある女在帯との家族構成状況は一致してゐない。夫又は男在帯の平均家族数は四、五六人で、この人数は東京都の勤労働者の一在帯当り平均家族数四、四九人（二十四年八月）に比較して大差ないが家族のある女在帯では平均家族数は三、三六人で男在帯に比べると一、一人少ない。

女子日雇労働者の結婚

一般女子労働者は大体において、未婚者が多いことは、その年令構成から推しても明らかであるが、総

第一表

全産業に於ける年令構成
(1948年10月)

日雇労働者
年令構成

年 令	男 %	女 %	男 %	女 %
総 数	100	100	100	100
20才以下	13.1	47.7	3.2	0.3
21 ~ 30	34.7	37.0	19.5	12.4
31 ~ 40	27.1	2.3	12.6	35.3
41 ~ 50	17.4	4.7	20.0	33.5
51 ~ 60	6.5	1.9	25.6	15.6
61才以上	1.2	0.4	13.1	2.9

計	116	15	85	15	231
計	116	14	82	3	215
計	1	1	3	1	4
計					12

表4

女子日雇労働者の結婚状況



表3

女子日雇労働者の家族構成

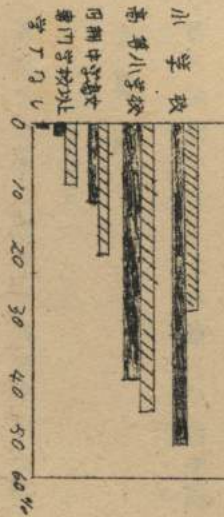
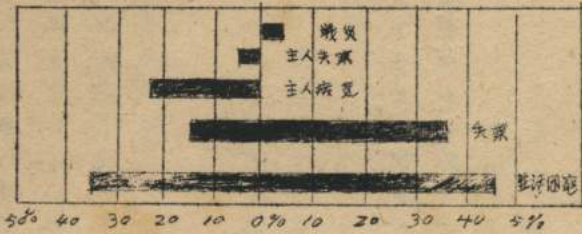


表2

日雇労働者の別科別程度

表5

女子日雇労働者に希望した勤続
(夫又は男子帯) (女 単 帯)



理府で行つた右調査「婦人と職業」(昭和二三年一月)の中でも未婚者八〇・三%となつてゐる。それに反して、女子日雇労働者は、表四表のように既婚者が断然多く九三・五%を示してゐる。

右帯構成別にみた女子日雇労働者の年令分布

夫又は男を帯の年令構成は三才から四才までが三八・九%、四才から五才までが三三・三%と低くなり、五才より六才までが二六・五%となつてゐて、それを令せると八七・八%で子供の成長期にある家計の苦しみが見出ている。

家族のある女を帯の年令構成は、夫又は男を帯の場合と同じように、三才から四才までが高く、三八・八%、四才から五才までが三四・一%で大体年令構成が高いが、二才から三才までのものが一五・三%を示してゐることは前者とややその性質を異にしている。

女の独りを帯は、五才から六才までが断然高く四六・六%となつてゐることは、注目すべき点といえよう。

女子日雇労働者の子供の年令

子供の年令を、学令期である八才以上十九才までと、就学前に大別してみると八才以上のものが六九・三%、七才までが三三・五%を示してゐることは、女子日雇労働者と託児の問題につき、その関係に、関心をよせないではいられないところである。

女子日雇労働者とその子供の職業

女子日雇労働者の子供で働いてゐるものは、一・二・一%あるが、それらの子供と職業の関係において、特別に傾向は見出されなかつた。

女子日雇労働者の子供数

女子日雇労働者の子供数は、子供一人の帯が非常に多い。即ち夫又は男を帯七人を帯、家族のある女を帯六一人を帯、合計一三三を帯のうち、子供一人が五四を帯、次は子供二人二九を帯、子供三人の二一を帯と、子供数の値えるにつれて段々と下つてゐる。

これは男、女を帯とも同じ傾向ではあるが、家族のある女を帯では子供一人が断然多く三〇を帯とつてゐる。

女子日雇労働者の家族の収入

女子日雇労働者の家族の収入は極めて少ない。然し、この調査では、調査表に収入の記入してあるものが非常に少ないので、これのみによつて直に収入の状況をみることは危険であるが、一応の傾向を示すものとしてとりあげる。

夫のある女を帯一三一を帯のうち、夫が病氣、病弱のため助けないものは三一を帯、夫が失業中のものを三を帯は収入なし、又収入の記入してない三を帯の収入は不明であるが、収入の分る六入を帯の平均収入は、月額五、八六〇円となつてゐる。ここにいう収入とは家族の合計したものであるから、一人当りの平均月収は更に少ないといふことになる。

この収入も統計調査部の勤労者を帯収入調査概況（二四年八月分）に比べてみると、東京都の現金収入総額一四、二六一円の僅かに四、九％に過ぎない。又家族のある女を帯八五を帯についてみると、収入なし三九を帯、収入の記入してないもの一九を帯、収入の分る二七を帯の平均月収は三、一八〇円で、女を帯の平均家族数に全体に比べてやや少ないといへば、その生活状況が、如何に逼迫してゐるかは、想像に難くなく、甚だしいのは入人家族の平均収入が四、六六六円であつた。

女子日雇労働者に志望した動機

第五表に示すように、女子日雇労働者に志望した動機としては、生活困窮によるもの九七名、前取を失業したものの五七名、夫が病氣三一名、夫が失業したものの三名、戦災四名、不明のもの三九名とつてゐる。殊に女を帯では、前取を失業したためによる割合が三五％と高いのは、その就業動機について、注目すべき点である。

...

る。

沉

ここに調査した結果によると、夫の病気が極めて多い。このことは注目しなう。

帯である。又女を帯八五右帯のうち、家族に罹病者のあるものが五右帯となつてゐる。

業

(婦人少年信)

